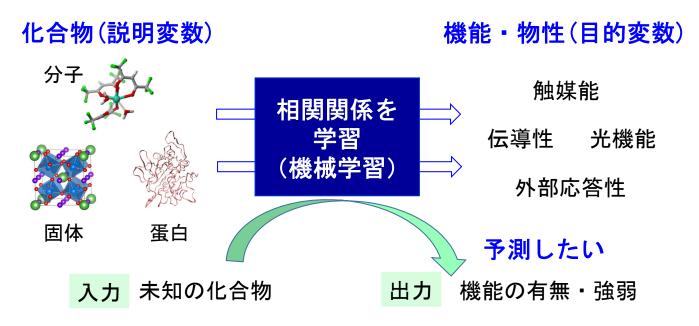
基礎科学チュートリアル すぐできるマテリアルズ・インフォマティクス ~材料×機械学習の融合~

慶應義塾大学理工学部化学科 畑中美穂

Materials Informaticsの基本概念



考えるべき 3項目

- Q1. 相関関係をどう学習するか?(機械学習)
- Q2. 化合物をどう表現するか?(記述子・特徴量)
- Q3. データをどう集めるか?(データベースの扱い)

データを数値で記述する(記述子,特徴量)

例① 白黒画像

 $28 \times 28 \text{ pixel} \mathcal{O}$ 手書き数字の画像



各pixelの値を 要素に持つ 28×28の行列で 記述可

例② カラー画像



RGB 分割



 3×3000 pixel \times 4000 pixel \mathcal{O} テンソルで 記述可

例③ 言語

I have a pen. I have an apple.

予め定義した単語の 出現回数を数える

1	2
want	0
have	2
go	0
a / an	2
the	0

apple	1
banana	0
pineapple	0
pen	1
cup	0
scarf	0

(2, 0, 2, 0, 2, 0, 1, 0, 0, 1, 0, 0)ベクトルで記述可

化合物の特徴量

無機塩

NaCl

MgCl₂ FeCl₂ EuCl₃

各原子固有の情報:

原子番号・分子量・イオン半径

- 塩の情報:

各原子の形式電荷 (Na+, Mg²⁺, Fe²⁺, Eu³⁺)

結晶構造 (面心立方格子 etc) 融点・密度・水への溶解度



測定から得られる情報: スペクトル

・DFT計算から得られる情報:軌道のエネルギー・電荷の偏り

構造式から得られる情報: 分子量・部分構造の有無・

水素結合donor/acceptor数

極性表面積 (TPSA)

回転可能な結合数 など

Molecular Descriptors

ケモインフォマティクス分野で蓄積されてきた 分子の特徴量に広く用いられている

[

分子の表記方法① SMILES記法

SMILES (simplified molecular-input line-entry system)

- 各原子のつながりを線形で表記・分子構造のコンパクトな表現
- 文法
 - 原子名: C, H, Nなど

(芳香環に含まれる原子のみ小文字で書く場合も)

・ 結合: 二重結合は「=」, 三重結合は「#」

(共有結合以外の場合は、「.」でつなぐ)

・ 分岐: 分岐した枝の先を全てカッコ内()に書く

環 : 環のはじめ・終わりの原子に同じ数字をつける

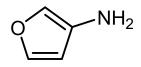
例(1) CO

例② C1=CC=CC=C1

例③ O1C=C(N)C=C1

H₃C-OH





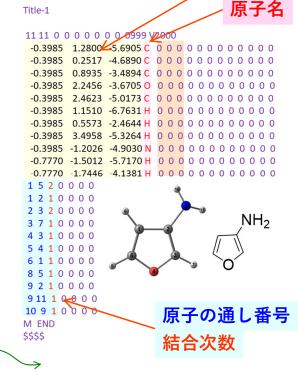
分子の表記方法② MDLフォーマット

MDL (Molecular Design Ltd)

• MLDを含むファイル: Structure-Data file (SDF)

XYZ座標

- 原子名・結合情報で分子を表す (XYZ座標を含む場合も)
- 化合物の性質も書き込める
- 原子名の右側の列 同位体/電荷/立体の情報



性質を 書き込む場合 > <Name> Furan-3-amine

\$\$\$\$

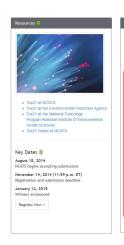
演習

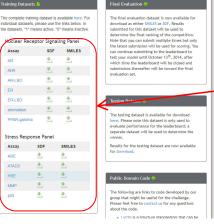
①化合物の構造から毒性を 予測できるか検証しよう

②毒性に大きく関わる重要な パラメタが存在するか 議論する

化学物質の毒性データ







GitHub掲載 データは ここから取得 8

機械学習モデルを作るには…

• SDFの情報



- 機械学習モデル構築に向けて考えるべきこと
- 1)**化合物をどう記述するか?** RDKit@Pythonを利用
- 2) どのように学習するか? 教師あり学習・分類問題 Scikit-learnを利用
- 事前準備(要インストール)

!pip install rdkit import rdkit from rdkit import rdBase, Chem, DataStructs (...以下略...)

nr-ar.sdfファイルの中身を見てみよう